



令和7年度第1回総合教育会議：印西市が目指す教育について

「子どもたちの幸せに生きる力を育む」教育

印西市長 藤代健吾

2025年5月19日

本日の議題

前半

印西市の
これからの教育
について

「子どもたちの幸せに生きる力を育む」教育：藤代市長（45分）

「大切にしたいこと」：渡邊教育長（30分）

休憩5分

後半

印西市の教育
の現状について

印西市教育DX推進について：松本教育DX専門官（15分）

インクルーシブ教育について：指導課（15分）

不登校児童生徒支援について：教育センター（15分）

学校の規模について（15分）：指導課・学務課

印西市教育大綱の策定について：企画政策課（10分）



はじめに

今日、皆さんと議論したいこと

教育大綱 と 教育振興基本計画

今日、皆さんと議論したいこと（言い換えると）

これからの「教育」について

委員の皆さんに伺いたいこと①

なぜ、「教育」が重要なのか？

私なりの答え

A. 子どもたちこそ地域の未来、地域の宝

委員の皆さんに伺いたいこと②

「教育」の目的は何か？

私なりの答え

A. 子どもたちが“幸せ”に生きる力を育むこと

教育大綱と教育振興基本計画とは？（法律上の位置付け）

教育大綱

教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として、策定が義務付け

（根拠法：地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3第1項）

第1条の3 地方公共団体の長は、教育基本法第十七条第一項に規定する基本的な方針を参酌し、**その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下単に「大綱」という。）を定めるものとする。**

2 地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、次条第一項の**総合教育会議**において協議するものとする。

教育振興基本計画

教育の振興のための施策に関する基本的な計画として策定。なお、策定は努力義務

（根拠法：教育基本法 第17条第2項）

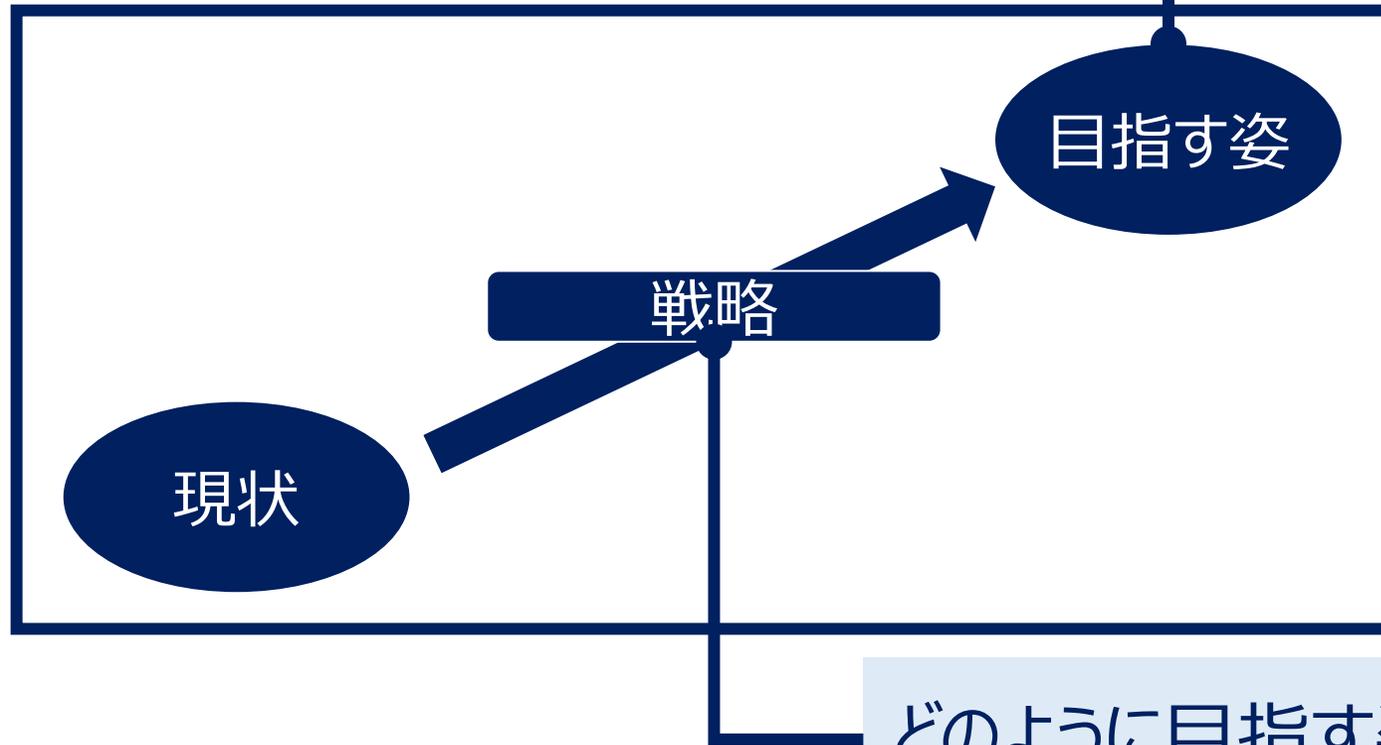
第17条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、**当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。**

教育大綱と教育振興基本計画の関係（私なりの理解）

教育大綱

印西市の教育が目指す姿は何か？



教育振興基本計画

どのように目指す姿を実現するのか？

教育大綱と教育振興基本計画とは？（私なりの答え）

A. 印西市の「教育」の方向性を決める 最も重要な大綱・計画

だからこそ、、、令和8年度の改定に向けて

徹底的に、こだわりたい

策定に向けた「こだわり」①：内容

**子どもたちが“今”と“これから”を幸せに生きるための教育
を実現するための方向性を示す（羅針盤）**

策定に向けた「こだわり」②：伝え方

子どもたちやご家族のみならず、多くの方々に関係するもの。
“圧倒的に伝わりやすい”ものへ

先進事例

石川県加賀市： 学校教育ビジョン

BE
THE
PLAYER
ER

自分で考え
動く 生み出す
そして社会を変える

加賀市 学校教育ビジョン

加賀市の教育が大きく変わります

自分で考え
動く 生み出す
そして
社会を変える

子どもの「今」も「未来」も幸せに
well-beingを実現する学びの改革

未来は自分で創る

PROJECT
03

#探究 #STEAM #プログラミング
#デジタルシナジー

多様な人たちと意見を交わし、企業、地域、大学など様々なバックグラウンドを持つ大人たちと一緒に学び、実社会・ホンモノに触れ、探究する。問いを立て、課題解決をする学びを進めます。

小中一貫型

加賀STEAM教育プログラムの実施

加賀市の強みであるプログラミングを生かして、小中9年間一貫型のSTEAM教育プログラムに刷新します。



橋立中学校のSTEAM学習のまとめです。

プレゼンテーションの様子はこちら



STEAM教育とは
5つの分野の頭文字をとった造語です。単に理数やテクノロジーの学びだけでなく、分野の枠にとらわれず、創造性や発想力を組み合わせて、課題解決に挑んでいく探究型の学習です。AIやテクノロジーの進展を見据えた新しい教育として、注目されています。

学びを変える

PROJECT
01

#ICT #個別最適な学び #協働的な学び #空間デザイン #遠隔協働 #インクルーシブ

教師による一方の斉授業スタイルは、異なる一人ひとりに合う学びを届けることには限界があります。一人一台のパソコンをフル活用して、個々のスピードに合わせて、自分のペースで自分から学ぶ。そして沢山の人と対話して、助け合って共に学び合う。教室の空間デザインも工夫し、好奇心と夢中であふれる、もっと自由にクリエイティブな教室へ。「そろえる」教育から一人ひとりを「伸ばす」教育へと変えていきます。

今までは…

「みんな一緒に 同じことを 同じ方法で」



これからは…

「自分のペースで自分で学ぶ」
「学び合って、助け合って、共に学ぶ」



誰一人取り残さない

PROJECT
02

#不登校 #サードプレイス #教育支援センター #発達支援

不登校の子どもは年々増加し、10人に1人以上の小中学生が「学校に行けない・行きたくない」という状況です。誰一人取り残さず、学びが広がる不登校支援の新たな仕組みを作ります。また、増加している発達支援が必要な子どもにとって、よりよい教育環境・支援につなげるため、新たに大学や専門機関との連携を始めます。

教育総合支援センター 移転・リニューアル

教育総合支援センターを旧三木小学校に移転し、地域の大人たちと一緒に学校になじめない子どもたちが安心して過ごせる場所を作ります。また、不登校支援の拠点として機能強化し、全面リニューアルします。



学校内サポート ルームの設置

「教室に行くのがしんどいな」そう思ったとき、教室以外で過ごせる場所、学べる場所を学校内に設置し、早期の支援につなげます。

地域と一緒に

PROJECT
04

#コミュニティスクール #部活動地域移行
#学校の連絡デジタル化 #広報・発信

加賀市の強みである地域の力を生かして、地域と一緒に子どもを育てる環境づくりを進めます。

コミュニティスクールへ

学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に学校や子どもを支えていく仕組みであるコミュニティスクールに全校移行します。



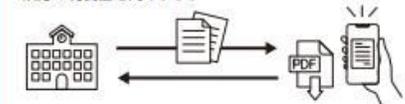
中学校部活動の地域移行

2023～2025年度を「改革推進期間」と位置づけ、早期に地域移行の実現を目指すという国の方針のもと、加賀市でも土日の部活動から段階的に地域移行を進め、地域と一緒に子どもの活動の場を作っていきます。

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
準備年度	計画年度	土日の部活を段階的に地域移行	

学校・保護者間の連絡手段のデジタル化

学校からの情報発信やアンケートの実施、家庭からの欠席連絡などを迅速・確実に行うため、アプリを導入し、双方の利便性を高めます。



保護者・市民向けの教育講演会・広報

新しい教育への理解を進めるため、講演会の実施や SNS 等を通じた情報発信、教育改革の進捗の広報も進めます。

01 学びを変えるプロジェクト

#ICT

#個別最適な学び

#協働的な学び

#空間デザイン

#遠隔協働

#インクルーシブ

子どもが主役、自分で学ぶ、学び合う

個々のスピードに合わせて、自分のペースで自分から学ぶ。沢山の人と対話して、助け合って共に学び合う。

一人一台パソコンをフル活用して、教室の空間デザインも工夫し、好奇心と夢中であふれる、もっと自由にクリエイティブな教室へ。

そしてインクルーシブな環境にもつなげていく。「そろえる」教育から一人ひとりを「伸ばす」教育へ転換していきます。



イラストはイメージです。一斉型の授業が全くなくなるわけではありませんが、子ども主体の授業を増やしていく方向性を示しています。

策定に向けた「こだわり」③：つくり方

公開の場での議論（対話）中心

（形式的な会議は不要）

策定に向けた「こだわり」③：つくり方

公開の場での議論 = 総合教育会議

策定に向けた「こだわり」④：みんなで創る

皆さんの声を聴きに伺います（対話）

策定に向けた「こだわり」⑤：（市役所も）みんなで創る

教育大綱 と 教育振興基本計画を ひとつに

策定に向けた「こだわり」⑤：（市役所も）みんなで創る

（仮称） 印西市教育ビジョン

最後に

**私たちは本気で
“子どもたち”と“教育”に向き合います**



これからの教育について

世界の潮流

- 私たちを取り巻く
世界はどうなって
いくのか？

VUCAの時代：変化が激しい・先が見通せない時代

Volatility
(変動性)

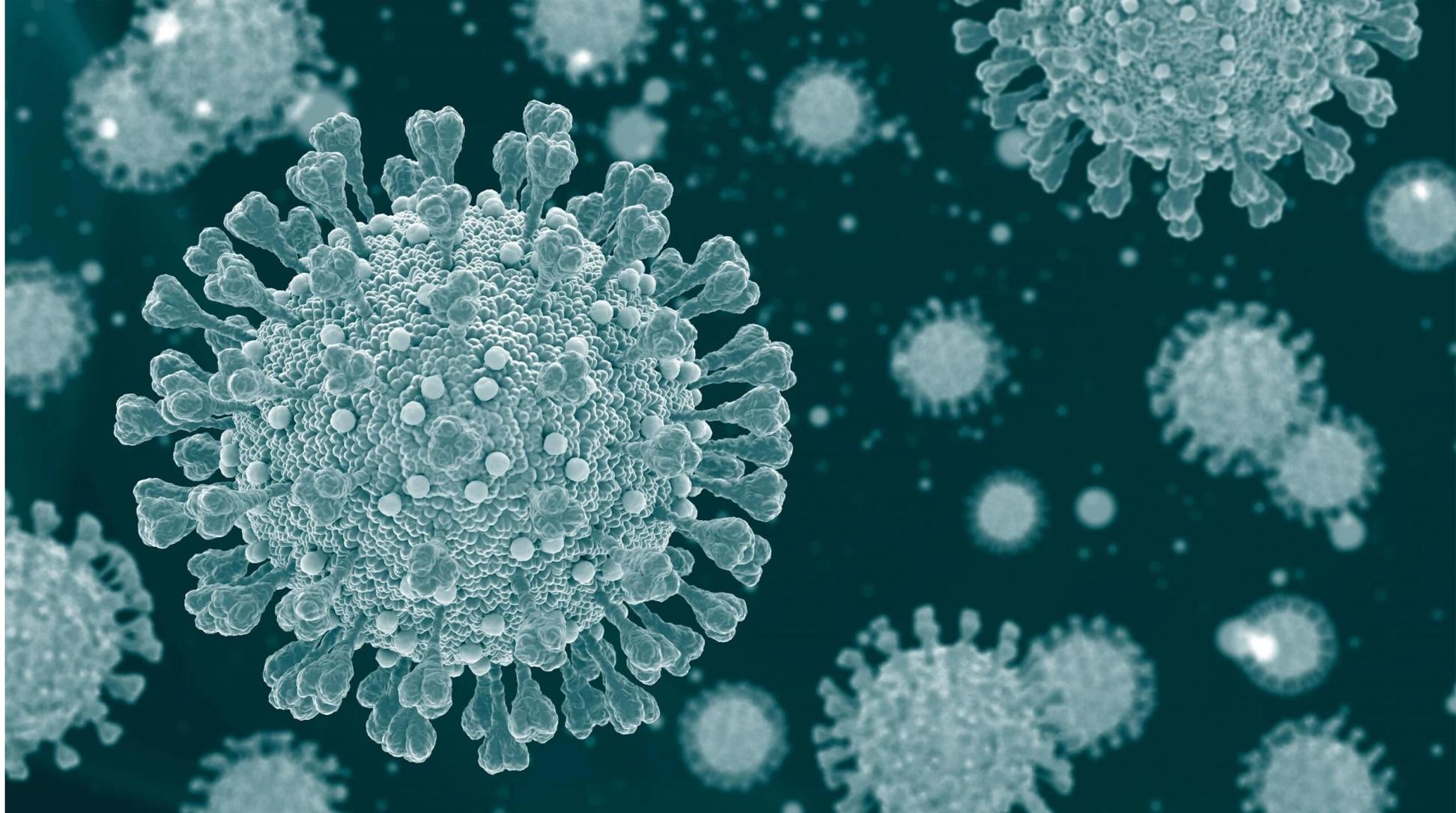
Uncertainty
(不確実性)

VUCA

Complexity
(複雑性)

Ambiguity
(あいまい性)

新型コロナウイルス（COVID-19）の発生と流行



世界潮流：変化

世界は急激に変化している

1990年代の深セン



現在の深セン：人口1,800万人。ハードウェアのシリコンバレーとも



自動運転車

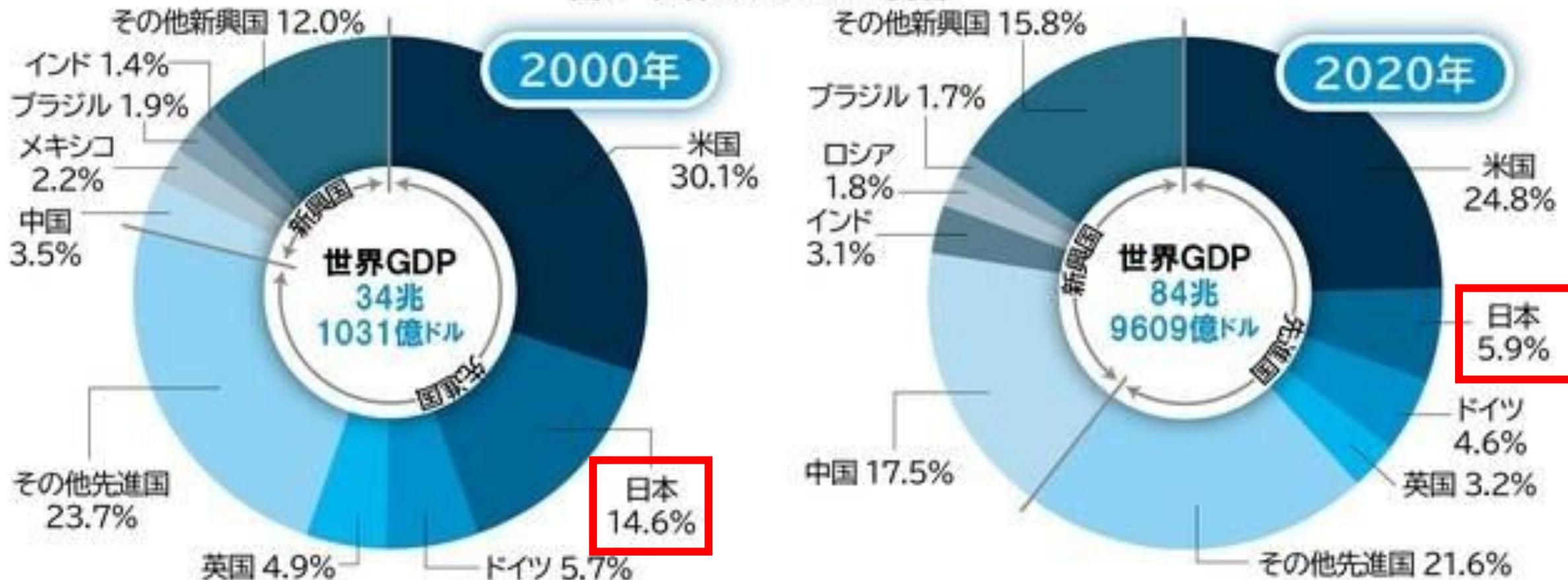




生成AIの衝撃

世界GDPシェアの変化：2000年 vs 2020年

図1 世界GDPシェアの変化



(注)国分類の定義は国際通貨基金(IMF)に従う (出所)IMFより筆者作成

世界の時価総額 トップ10

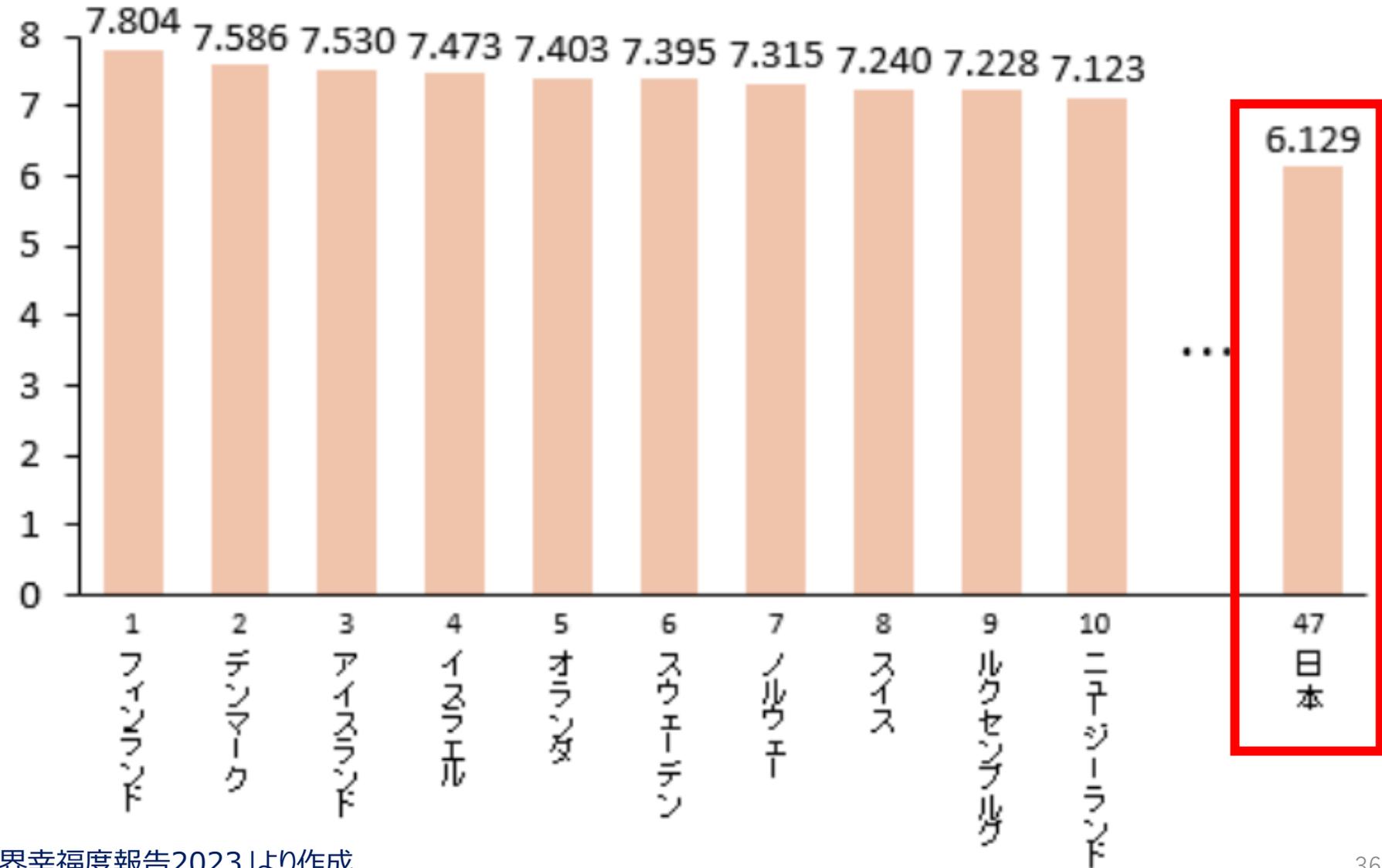
世界の時価総額トップ10から日本企業は消えた

1989年12月29日				2024年2月15日		
会社名	国名	時価総額 (10億ドル)	順位	会社名	国名	時価総額 (10億ドル)
日本電信電話 (NTT)	日本	163.9	1	マイクロソフト	米国	3020.9
日本興業銀行	日本	71.6	2	アップル	米国	2839.1
住友銀行	日本	69.6	3	サウジアラムコ	サウジアラビア	2061.7
富士銀行	日本	67.1	4	エヌビディア	米国	1794.7
第一勧業銀行	日本	66.1	5	アルファベット	米国	1782.2
IBM	米国	64.7	6	アマゾン・ドット・コム	米国	1763.8
三菱銀行	日本	59.3	7	メタ・プラットフォームズ	米国	1234.4
エクソン	米国	54.9	8	バークシャー・ハサウェイ	米国	874.9
東京電力	日本	54.5	9	イーライリリー	米国	719.4
ロイヤル・ダッチ・シェル	英国	54.4	10	テスラ	米国	638.4

※1989年はダイヤモンド・オンライン、直近はブルームバーグより。
みずほ証券エクイティ調査部作成

世界幸福度ランキング：日本人の幸福度はG7最低水準

※2020-2022年の3年平均



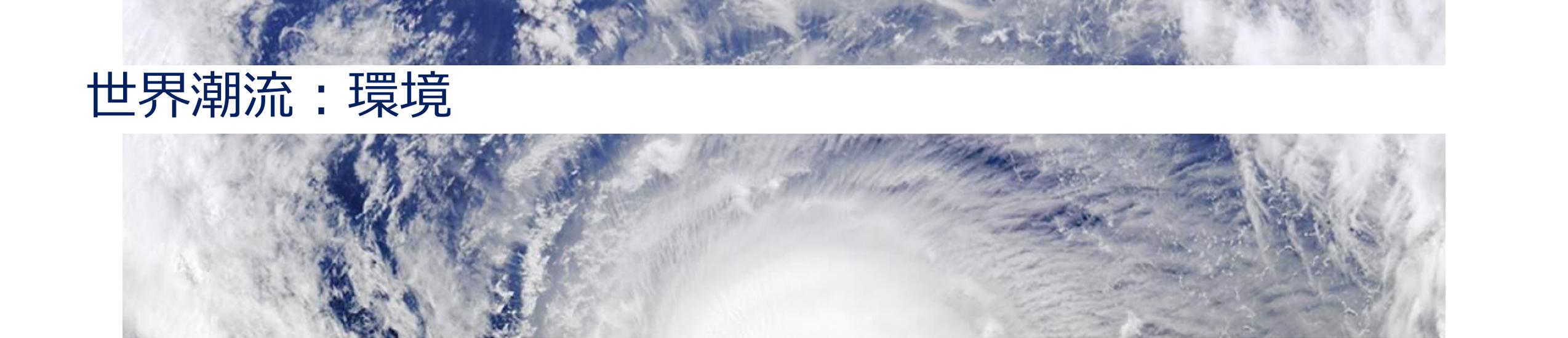
(出典)第一生命経済研究所。SDSN「世界幸福度報告2023」より作成

日本の子ども：精神的な幸福度は先進国最低レベル ユニセフが報告書

※2020年、
先進38か国中の
順位

子どもの幸福度の順位

総合	精神的幸福度
1 オランダ	1 オランダ
2 デンマーク	2 キプロス
3 ノルウェー	3 スペイン
20 日本	34 韓国
21 韓国	35 オーストラリア
37 ブルガリア	37 日本
38 チリ	38 ニュージーランド



世界潮流：環境

気候変動と持続可能性

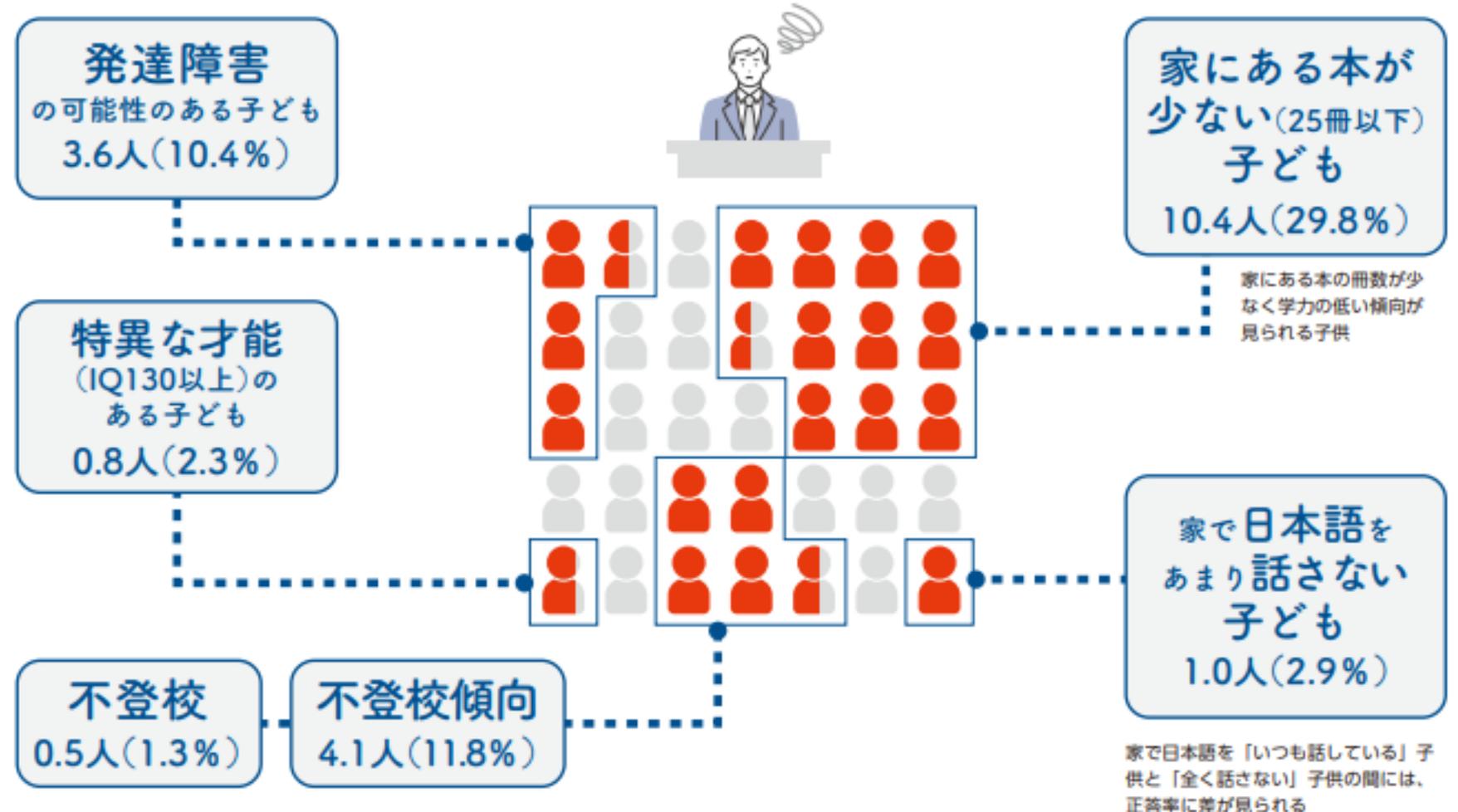
世界潮流：多様性

多様性が増す社会

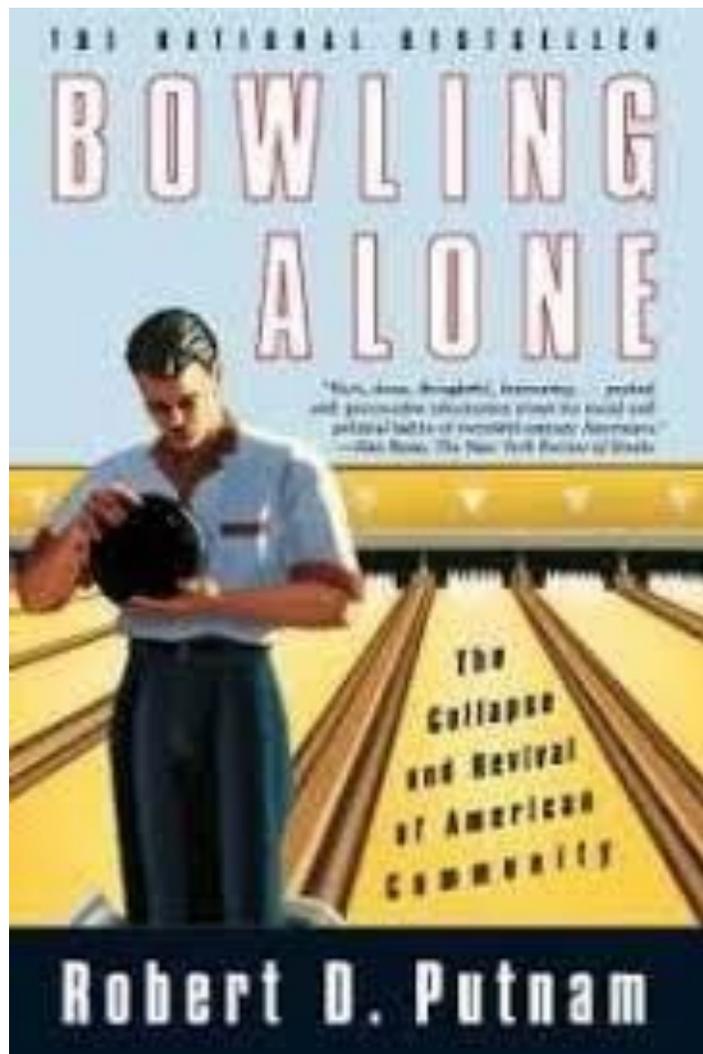
教室には多様な子どもが集まっています

子どもの多様化が進んでおり、下記のように数字として表れる子ども以外にも、授業の理解度に差があったり、学びやすい方法もそれぞれ違ったりと、子どもはみんな違います。

小学校 35人学級の場合
(全国値)



世界潮流：孤立・孤独化



(ご参考)Well-beingとは？

身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念

幸福感と
相関の高い
4因子

(慶応義塾大学
前野教授)

「やってみよう」因子
(自己実現と成長の因子)

夢や目標ややりがいを持って、「本当になりたい自分」をめざして成長していく

「なんとかなる」因子
(前向きと楽観の因子)

いつも前向き、「自分のいいところも悪いところも受け入れる」自己受容。「何とかなるだろう」と感じる楽観

「ありがとう」因子
(つながりと感謝の因子)

多様な人とつながりを持ち、人を喜ばせたり、人に親切にしたり、感謝したりすること

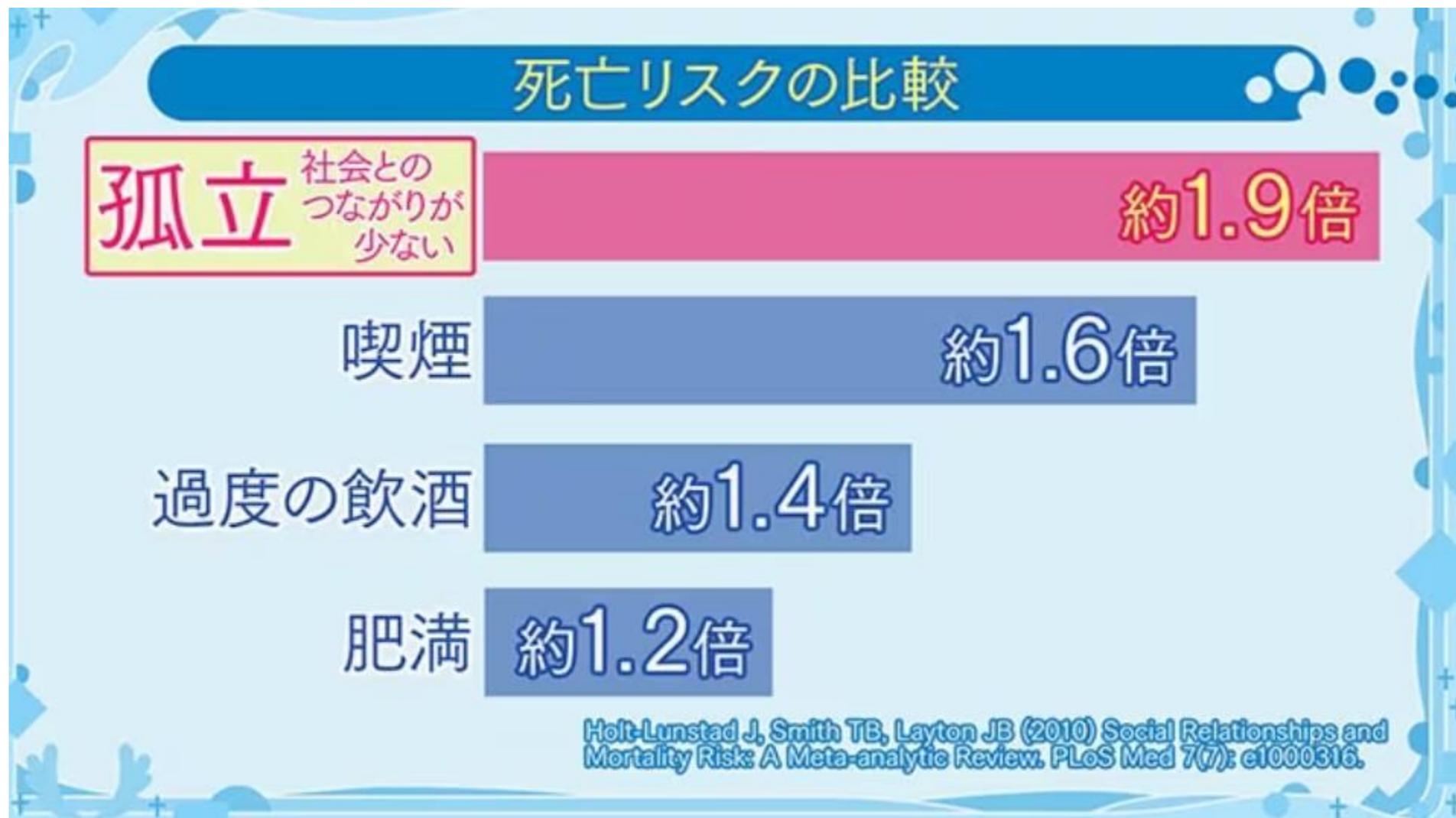
「ありのままに」因子
(独立と自分らしさの因子)

人目を気にせず、自分らしく生きていける

まさに、今回ご紹介した方々に共通している(ように見える)因子。

一方で、4因子をひとりで高めることは難しい。こうした因子を高める「人とのつながり」(=コミュニティ)が重要

孤独と健康



民主主義の危機？

政治に対する距離の遠さ

民主主義と市民の距離

昔のまちづくり

地域ごとにみんなで（例：寄合）



今のまちづくり

近代民主主義：政治＝投票



世界潮流：リアル ⇔ デジタル

身体性の喪失、 バーチャル／デジタル世界の拡大

世界潮流：リアル ⇄ デジタル



世界潮流（まとめ）

変化が激しい・先が見通せない時代（答えのない世界）

社会と人の幸せの在り方

気候変動と持続可能性

多様性が増す社会

関係性の希薄化と孤独化

問われる民主主義の在り方

身体性の喪失とバーチャル／
デジタル世界の拡大

これから 求められる力

-子どもたちが幸せに
生きるために必要な
力とは？

これから求められる力

2つの主体性



これから求められる力

2つの主体性

1

自らへの主体性

2

社会への主体性

3

身体に紐づくもの（身体性・身体知・身体感覚）

自らへの主体性：自分で決める

リーダーシップ

(自ら決める、Lead myself、Stand Alone)

自らへの主体性：幸せ・好き

幸せを見つける力／幸せである力
(“好き”を見つける力)

自らへの主体性：探求力

**答えのない問いに向き合い行動する力：
探求力（常識を疑う力）・創造力**

(補足) 自らへの主体性：探求力の制約となるもの

前例踏襲（とうしゅう） ・ルールに従う・
形式主義・上意下達（じょういかたつ）
※但し、すべてが常に悪な訳ではない

自らへの主体性：変化

変化を恐れない力／変化し続ける力

これから求められる力

2つの主体性



社会への主体性：多様性

多様性を受入れる力・包摂する力

社会への主体性：多様性

対話を通じて社会を創る力

これから求められる力

2つの主体性



3 **身体に紐づくもの** (身体性・身体知・身体感覚)

身体に紐づくもの：身体性・身体知・身体感覚

身体を通じ世の中とつながっている感覚
(健康であること、社会との接点、自然との接点)

世界潮流：リアル ⇄ デジタル



基礎的素養：現代の読み書きそろばん

デジタル教育

グローバルマインド
の醸成

生成AI(Gemini)が考える「印西市が目指す教育の在り方」(1/4)

印西市のこれから目指す教育について、市長として、市民の皆さんに講演を予定しています。世の中の変化や潮流を踏まえながら、これから求められる力について、教えてください。

承知いたしました。印西市の市長として、市民の皆様への講演で「これから目指す教育」についてお話しされるのですね。世の中の大きな変化と潮流を踏まえ、**未来を生き抜くために求められる力について、以下にいくつかの重要なポイント**を挙げさせていただきます。

講演のポイント：未来を拓く印西の教育

1. 予測不可能な社会を生き抜く力

- **変化の激しさ**: AI技術の進化、グローバル化の加速、気候変動など、私たちの社会はかつてないスピードで変化しています。これまでの常識や知識だけでは対応できない場面が増えていくでしょう。

求められる力:

- **主体的な学び**: 正解のない問いに対し、自ら考え、探求し、学び続ける力。
- **批判的思考力 (Critical Thinking)**: 情報の真偽を見極め、多角的な視点から本質を捉える力。
- **創造力 (Creativity)**: 既存の枠にとらわれず、新しいアイデアを生み出し、革新を起こす力。
- **問題解決能力 (Problem Solving)**: 複雑な課題に対し、論理的に分析し、解決策を見出す力。
- **適応力 (Adaptability)**: 変化する状況に柔軟に対応し、新しい環境に順応する力。

生成AI(Gemini)が考える「印西市が目指す教育の在り方」(2/4)

2. グローバル社会で活躍するための素養

- **多様性の尊重:** 文化、価値観、考え方の異なる人々との共存がますます重要になります。

求められる力:

- **コミュニケーション能力:** 異なる背景を持つ人々と円滑に意思疎通を図る力（言語能力だけでなく、非言語的なコミュニケーションも含む）。
- **共感力 (Empathy):** 他者の感情や立場を理解し、尊重する力。
- **異文化理解:** 異なる文化や歴史、社会構造に対する知識と理解。
- **グローバルな視点:** 地域社会だけでなく、地球規模の課題に関心を持ち、行動する意識。

3. デジタル社会を主体的に生きる力

テクノロジーの進化: AI、IoT、ビッグデータなどの技術は、私たちの生活や働き方を大きく変えています。

求められる力:

- **情報リテラシー:** 情報を収集・分析し、適切に活用する力。
- **プログラミング的思考:** 論理的に考え、効率的な解決策を見出すための思考力（必ずしもプログラミングスキルだけを指すわけではありません）。
- **情報倫理:** 情報を安全かつ適切に扱い、情報社会のルールやマナーを守る意識。
- **テクノロジーを活用する力:** 新しいテクノロジーを積極的に学び、仕事や学習に役立てる力。

生成AI(Gemini)が考える「印西市が目指す教育の在り方」(3/4)

4. 自己肯定感を育み、Well-being を実現する力

- **心の健康の重要性:** 変化の激しい社会で、子どもたちが健やかに成長するためには、心の健康が不可欠です。

求められる力:

- **自己理解:** 自分の強みや弱みを理解し、自己肯定感を育む力。
- **自己管理能力:** 感情をコントロールし、ストレスに対処する力。
- **主体性と自律性:** 自分の意思で目標を設定し、行動する力。
- **他者との良好な関係性:** 協力し、支え合う力。
- **生涯にわたる学びへの意欲:** 好奇心を持ち続け、学びを楽しむ姿勢。

生成AI(Gemini)が考える「印西市が目指す教育の在り方」(4/4)

印西市が目指す教育の方向性（例）

これらの求められる力を育むために、印西市として以下のような教育の方向性を検討していくことが考えられます。

- **探求型学習の推進**: 子どもたちが自ら課題を見つけ、解決していく力を育む学習を取り入れる。
- **STEAM教育の強化**: 科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術 (Arts)、数学 (Mathematics) を統合的に学ぶことで、創造性と問題解決能力を育成する。
- **ICT環境の整備と活用**: 一人一台端末の活用はもちろん、AIドリルやオンライン教材などを効果的に活用し、個別最適化された学びを実現する。
- **グローバル教育の推進**: 英語教育の充実だけでなく、国際交流や多文化理解を深める機会を提供する。
- **キャリア教育の充実**: 社会とのつながりを意識させ、将来の生き方を考える機会を提供する。
- **地域との連携強化**: 地域の人材や資源を活用した学習機会を創出し、地域社会への関心を高める。
- **教員の研修の充実**: 変化に対応できる指導力を備えた教員を育成する。
- **保護者や地域住民との連携**: 学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの成長を支える体制を構築する。

これらの要素を踏まえ、**印西市の子どもたちが未来社会で活躍し、幸せな人生を送ることができるよう、力強いメッセージを発信されることを期待しています。頑張ってください！**

相反する概念、矛盾するものを「統合する力」

自分で決める



みんなで決める

自分の幸せ



人・社会の幸せ

個人の想い



組織の調和

やりたいこと



やらないといけないこと

変化し続ける



変わらない

これから求められる力（まとめ）

変化が激しく、正解のない中で、常に、自分自身で自分の人生を決め、行動できる。

多様な人との対話を通じて、より良い社会に向けて行動ができる。

印西市のこれから の教育

- 私たちが目指す教育
の姿とは？

(ご参考) 文科省が唱える新しい学び (例)

個別最適な学び

探求学習

アクティブラーニング

STEAM教育

英語教育

プログラミング教育

インクルーシブ教育

非認知能力の
強化

コミュニティスクール

新しい学びの在り方は示されている

未来へ向けて

まずは、大人が変わる

組織のトップとして

まずは、組織のトップから変わる

職員の皆さんへのお願い

前例や常識・ルールに囚われず、
「子どもたちの幸せに生きる力を育むためには？」
という論点に徹底的に拘って欲しい

印西市のこれからの教育を考えるヒント

(前出の“必要な力”を伸ばすことは大前提に)

印西の個性を活かすことが大事

確信していること

印西には“豊富な教育の財産”がある

印西の個性とは

自然との接点

印西の個性とは



印西の個性とは

グローバルとの接点

印西市の位置付け

日本と世界をつなぐ場所：世界とのゲートウェイ（玄関口）

印西市は、成田空港を有する成田市に隣接。成田空港から東京に向かわれる海外からの訪問者が最初に目にする場所

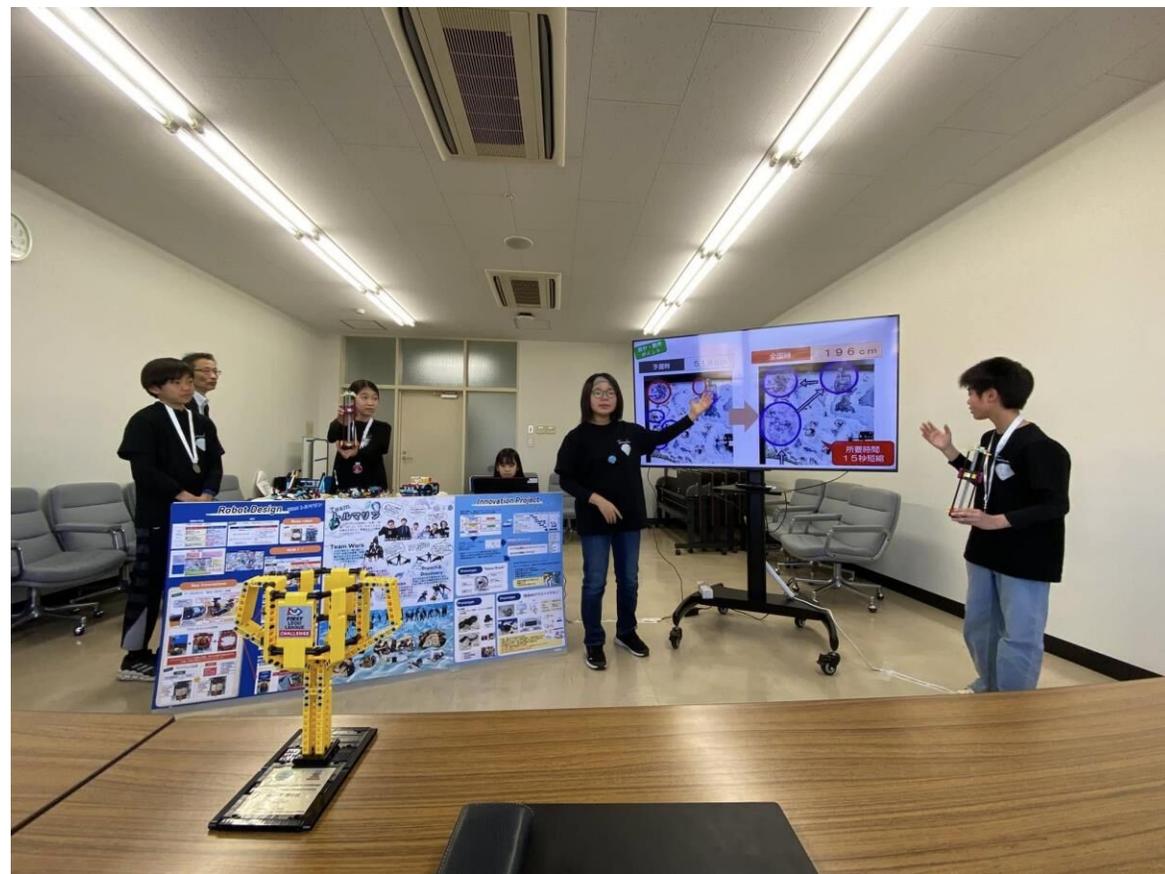
▶ 印西市は、日本の次の時代の豊かさを示す場所 = 日本のシンボル になれる可能性を有する



印西の個性とは

デジタル教育

印西市の個性：デジタル教育



印西の個性とは

子どもたちのことを思い、行動する多様な方々

今後の印西の教育が目指す方向（たたき台）

子どもたちひとりひとりの「今と未来の幸せ」に寄り添った学びの場の実現

1

ベースとなる共通の学び

(例)

- 主体性を育む教育
- 身体感覚を育む、自然や地域との接点
- デジタル教育、グローバル・マインドの醸成

2

ひとりひとりに合った多様な選択肢

(例)

- インクルーシブ教育の深耕
- 多様な学びの場と機会
(学校の教室外を含む)

×

3

学びの場を支えるインフラ

(例)

- 先生たちが、軽やかに、前向きに働ける環境づくり／デジタル・インフラの整備
- コミュニティ（地域の大人の皆さん）との接点／ともに創る学び場



最後に

ともに創る

質疑・議論



休憩（5分）